

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【表現力】【協調性・柔軟性】【郷土愛】

水呑町の人々を学校元気大賞にすいせんします

～説得力のある構成を考え、すいせんスピーチをしよう～

【単元の概要】

総合的な学習の時間や日常生活での地域の方との関わりの中で、水呑町を支えてくださる人々をみんなに紹介したいという思いをもち、福山市教育委員会が主催している「福山学校元気大賞」に推薦します。水呑町の「学校元気大賞」に推薦する人を選ぶために、説得力のある話の内容や構成、話し方を学習していきます。

◆単元の目標

「学校元気大賞」推薦するという目的に応じて、事柄が明確に伝わるように話の内容や構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す力を身に付ける。

◆単元の計画（全6時間）

【課題発見（総合的な学習の時間）】

・福山市教育委員会が主催している「福山学校元気大賞」に推薦するため、「学校元気大賞」という取組があることを知り、水呑町の人々を「学校元気大賞」に推薦したいという思いをもつ。

【課題の設定（1時間）】

・「学校元気大賞」に応募するスピーチVTRを制作するため、友達に向けて仮の推薦スピーチを行う。その中で、推薦の難しさを感じ、説得力のあるスピーチについて学びたいという課題を設定する。教科書のスピーチ例から説得力のあるスピーチについて考える。

【情報収集（総合的な学習の時間）】

・推薦する人物を決め、調べ活動を行う。

【整理・分析（3時間）】

・「学校元気大賞」の推薦スピーチの内容や構成を考え、スピーチメモを作る。
・教科書のスピーチ例を参考に、自分のスピーチにおける話し方の工夫を考える。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

・相手に伝わる話し方を意識して、友達同士でスピーチ練習を行う。
・スピーチ練習をしている様子をビデオ撮影し、自分の話し方を客観的に見ながら改善していく。

【実行（総合的な学習の時間）】

・「学校元気大賞」に推薦するスピーチVTRを作成する。

【振り返り（1時間）】

・スピーチVTRを見て頂いた地域の方の声を紹介する。「学校元気大賞」推薦の学習を通して身に付けた力や意識して取り組んだことを振り返り、自分の学びを確認する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	じどう車ずかんをつくろう 【説明文】「くらべてよもう じどう車くらべ」
	1	よく見てかこう しらせたいな 見せたいな
	2	なるほど説明カードを書こう 【説明文】「しかけカードの作り方」
	2	未来の道具を大発明！～組み立てを考えて、はっぴょうしよう～
	3	食べ物のひみつをしょうかいます～食べ物びっくりブックをつくろう～ 【説明文】「すがたをかえる大豆」
	3	めざそう！話し合い名人～進行を考えながら、話題にそって話し合おう～
	4	リーフレットでクラブ活動を紹介しよう 【説明文】「アップとルーズで伝える」
	4	物語のおもしろさを読書新聞で発信しよう 【物語文】「ごんぎつね」
	5	情景描写のたくみな仕かけを読み解こう 【物語文】「大造じいさんとガン」
	6	未来100NEN宣言！～意見を聞き合って考えを深め、意見文を書いて発信しよう～
総合的な学習の時間	3	食べ物調べ隊～水呑町のいちじくのよさを伝えよう～
	4	わたしたち水呑調査隊～綿花を通して水呑町のよさを知ろう～
	5	わが町！水呑じまん！～地域の魅力を伝えよう～
	6	HAPPYスマイルプロジェクト～人とのかかわり つなげる住民の輪～

水呑小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-minomi/>

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【表現力】【主体性・積極性】

ヌマクマ 春の本まつり♪ ようこそ5の2書店へ！

～本にキャッチコピーをつけて、2年生に薦めよう～ 教材文「千年の釘にいどむ」

【単元の概要】

図書館補助員の先生からの「2年生に本を読む児童が少ないから何かできないか」という依頼をきっかけに、2年生におすすめの本を紹介して、本に親しんでもらいたいという課題を設定し、「千年の釘にいどむ」の教材を通して、伝えたいことを相手が読んでみたいと思えるような言葉や文章で表す工夫を学びます。その学習を生かして、グループで選んだ本のキャッチコピーを考え、2年生を招いて本を紹介する「ヌマクマ 春の本まつり♪ ようこそ5の2書店へ！」を開きます。

◆単元の目標

文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えながら読む力を身に付けるとともに、目的に応じて複数の本や文章などを選んで比べて読む力を身に付ける。

◆単元の計画（全5時間）

【課題の設定（特別活動+1時間）】

- ・図書館補助員の先生から、「2年生に本を読む児童が少ないから何かできないか」という依頼を受け、2年生に本を読んでもらうためには、どのような方法で本を紹介するのがよいかを考える。
- ・書店の写真をしながら、本のよさを紹介するためにポスターや本の帯、POP等を工夫していることを知り、それらには、短い言葉で本を紹介しているところがあることに気付く。
- ・本にキャッチコピーを付けて2年生に紹介するというゴールを設定し、選んだ本にキャッチコピーを付けるという学習の見通しをもつ。

【情報収集（2時間）】

- ・キャッチコピーとして短い言葉で文章の内容をまとめるために「千年の釘にいどむ」を読み、伝えたいことを相手が読んでみたいと思えるような言葉や文章で表す工夫を学び、文章の内容や要旨を捉える。
- ・「千年の釘にいどむ」のキャッチコピーを考え、友達のキャッチコピーと比べながら表現の工夫を考える。

【整理分析（1時間）】

- ・グループごとに薦める本のテーマを決め、本を選ぶ。
- ・2年生を引き付けるようなキャッチコピーにするためにはどんな言葉を使うとよいのか考え、キャッチコピーを考える。

【まとめ・創造・表現（1時間+家庭学習）】

- ・各自でキャッチコピーの案を考え、グループで練り合っけてキャッチコピーを決定する。

【実行、振り返り（特別活動）】

- ・本やキャッチコピーの配置を工夫して「5の2書店」を設置し、2年生を招待して、「ヌマクマ春の本まつり♪」を開催する。
- ・2年生の反応やアンケートを基に振り返り、キャッチコピー以外にも本のよさを広げる方法はないかと意欲をもつ。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「がっこうしょうかいだいさくせん！！ ～説明する文章を読んで、校内を紹介するカードを作り、新1年生に伝えよう～」 説明文 じどう車くらべ
	2	「教えてあげたい！社会見学の日～じゅんじょに気をつけて、わかりやすくつたえよう～」 説明文 どうぶつ園のじゅうい
	3	「おすすめの遊びを6年生に伝えよう ～説明文の構成を学んで、遊びの種類と楽しさを伝える文章に活かそう～」 説明文 言葉で遊ぼう こまを楽しむ
	6	「アートステージをつくらう！～おすすめの絵を鑑賞文で紹介しよう～」 説明文 『鳥獣戯画』を読む
総合的な学習の時間	3	「大好き千年！～千年の町じまんをしよう～」
	4	「クリーン大作戦」

千年小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-chitose/>

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【論理的思考力・判断力・表現力】【知識・技能】【協働する力】

目指せ！最高学年

～4年生に委員会活動のよさをリーフレットで伝えよう～

【単元の概要】

校内における高学年としての役割を次年度の5年生に伝えるという特別活動（児童会活動）と関連付けて、「4年生に委員会活動のよさをどのように伝えるか」を考えます。明確になった目的や相手に応じて、児童は、リーフレットを伝達手段として選択し、どのような内容がふさわしいか、主体的に話し合いを進めます。また、構成や文章表現の工夫等についても主体的に考え助言し合いながら、協働的に各委員会のリーフレットを作成していきます。

◆単元の目標

- 委員会活動について伝えたいことを明確に表現するため、リーフレットの内容、構成や表現の効果を考えることができる。
- リーフレットが書く目的や意図に応じたものになっているかどうかという視点で検討し、助言し合うことができる。

◆単元の計画（全11時間）

【単元前（※学級活動）】

- アンケート結果から委員会の意義を理解していないという課題意識をもち、委員会活動のよさを知ってもらうために、4年生に伝える内容・方法について話し合う。

【課題の設定（1時間）】

- 収集した様々なリーフレットから、学習のゴールイメージをもち、学習計画を立てる。

【情報の収集、整理・分析（5時間）】

- 教材文のリーフレット例から、リーフレットの書き方を学ぶ。
- 各委員会で、伝えたいことを出し合い、リーフレットの割り付けを構想して、必要な情報を分担して収集する。
- 分担して収集した情報を基に、下書きする。下書きした記事を持ち寄り、リーフレットに書く内容を整理し、必要な情報を再取材したり記事を修正したりする。

【まとめ・創造・表現（4時間）】

- 同じ委員会のメンバーで読み合い、推敲する。
- 教師のモデルリーフレットに対する助言を考える学習活動を通して、推敲の視点や助言の仕方を学ぶ。
- 異なる委員会のグループで交流し、目的や意図に応じた構成や表現について助言し合う。
- 助言し合ったことを基に、リーフレットを修正し、仕上げる。

【実行（※学級活動）】

- リーフレットを基にしなが、委員会活動について4年生に伝える。4年生から感想をもらう。

【振り返り（1時間）】

- 「意図が伝わるリーフレットになっていたか」、「今後改善を加えるとすればどのような点か」について交流するとともに、資質・能力の「論理的思考力・判断力・表現力」「協働する力」の視点により、振り返りを書く。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「おはなしたまてばこ」～おきに入りのえほんをほいくえんのともだちにしょうかいしよう～
	1	「いきものみのまもりかたくいず」たいかいをひらこう～2ねんせいさん、ちゃれんじしてね～
	2	わくわくおもちゃスクール～1年生さんに手作りおもちゃについて教えてあげよう～
	3	原のまちをしょうかいし隊！ ～となりの小学校3年生にまちのおすすめスポットをビデオレターでしょうかいしよう～
	4	生き物助け合いQ&Aカード～共生している生き物について、原っ子にカードで紹介しよう～
	4	原お守り隊！～地域の人に役立つ防災情報をカレンダーで紹介しよう～
	5	もっとお米を知ろう！プロジェクト～お米のパワーをスペシャル番組でPRしよう～
	5	米米ありがとう新聞～米づくりについて恩人に新聞で伝えよう～
	6	変えていこう！ふるさと呉市レベルUP！～呉市長さんに意見文を提出しよう～
	6	ミッション！次世代につなぐメッセージを発信～映画「ヒロシマのうた」の予告編で伝えよう～
特支	ようこそ「なかよし市へ」～なかよし市で野菜をアピールしよう～	
総合的な学習の時間	3	原のひみつを見つけ隊！～絵地図「原のまち」をとなりの小学校3年生にとどけよう～
	4	原のまちを守り隊！～原の防災マップを作ろう～
	5	作ろうお米！メイドイン原～原小の米作りの伝統を守り、4年生に引き継ごう～
	5	こちら「原っ子米米カフェ」～お米料理をお世話になった人にふるまおう～
	6	盛りあが（阿賀）ろう！～実現！原っ子のまちづくり～

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【自律的活動能力】【コミュニケーション能力】

ごんぎつね ～ぼくのわたしの劇「ごんぎつね」を創ろう～

【単元の概要】

劇づくりに向けて、①背景・大道具②音響③小道具・衣装④演技(表現)を創るために必要な情報を「ごんぎつね」の教材文から見付けていきます。人物の言動とその心情の変化に着目して読むことにより、一読後の一面的な感想から、ごんや兵十の切ない思いを推し量る深い読みへと変化させていきます。

◆単元の目標

- ・ 叙述を基に、登場人物の性格や気持ちの変化、その原因を読み取ることができる。
- ・ 劇を創るために「ごんぎつね」を読み、考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くことができる。

◆単元の計画(全11時間+朝読書の時間+総合的な学習の時間+特別活動《学校行事》)

【課題の設定(1時間)】

- ・ 学習発表会が近づいてきて、今年もよりよい劇を披露したいと児童が思っている中、劇化された「モチモチの木」を視聴し、物語を自分たちで劇化することに興味・関心をもつ。自分たちの「ごんぎつね」を創ることを意識する。演じるために、登場人物やあらすじを把握するとともに、人物像や心情の変化を捉え、台本を検討することを意識して読む計画を立てる。
- ・ 物語で一番盛り上げる場面、そこで何を伝えたいといけなかなどを捉える必要があることに気付く。

【情報の収集、整理・分析(8時間)】

- ・ 思考ツール(人物関係図・心情曲線)を活用し、中心となる人物の気持ちの変化のきっかけになる出来事は何か、その出来事とほかの人物はどのように関わっているかを考えていく。
- ・ 場面の移り変わりに注意しながら読み、物語全体を通した人物の性格や人物の気持ちの変化を捉える。

【まとめ・創造・表現(2時間)】(総合的な学習の時間と関連)

- ・ 自分たちの「ごんぎつね」に対する最初の感想と学習後の感想を基に劇の台本の内容を考えることで、一人一人が感じたことを共有し合う。学習前と学習後の登場人物への思い(解釈)を対応しながら考える。
- ・ 学習した内容を自分たちの「ごんぎつね」の劇の表現活動(音響、照明、背景づくり、登場人物の動きや台詞の言い方など)に生かす。
- ・ 自らの考えを表現するとともに、仲間と協働して劇を作り上げていく。

【実行(学校行事)】

- ・ 学習発表会で発表する。

【振り返り】

- ・ 日常の読書活動において、叙述を根拠とした読書感想メモを書こうとする意欲をもつ。

【単元後】(※学級だより)

- ・ 劇を創ることを通して考えた作品のよさ、一人一人の感じ方を共有できる学びの面白さを発信する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	お気に入りののりものを ほいくえんのともちに しょうかいしよう 1年 説明文 いろいろなふね
	2	1年生に、手作りおもちゃの作り方やあそび方を分かりやすくせつ明しよう 2年 「おもちゃ教室」をひらこう
	3	はたらく犬リーフレットを作り、地域の人に知ってもらおう 3年 説明文 もうどう犬の訓練
	4	けごや小学校新聞を作ろう 4年 みんなで新聞を作ろう
	5	「ありがとう集会」で私たちの思いを伝えよう 5年 六年生におくる字をすいせんしよう
	6	警固屋の町づくりについて提案しよう 6年 説明文 町の未来をえがこう 町の幸福論-コミュニティデザインを考える
算数	1	すうずぶろっくでかんがえる 1年 たしざん(1)
	3	もようづくりにちょうせん 3年 円と球
理科	4	モーターカーレースをしよう 4年 電気のはたらき
総合的な学習の時間	4	「警固屋の町の安全について考えよう～『安全な警固屋の町にしよう』プロジェクト～」
	6	「未来を切り拓こう～警固屋の町の歴史と今と未来『警固屋の町活性化プロジェクト』～」

国語

第6学年

育成を目指す資質・能力

【基礎・基本の力】【コミュニケーション能力】

ブックトークをしよう！ ～ 一人の作家を追って ～

【単元の概要】

本校では、「子ども読書の日」に、保護者ボランティアがブックトークをしてくださっています。そのブックトークは児童に大好評で、「自分もブックトークができるようになりたい。」という憧れを抱いています。そこで、導入時に「作家〇〇さんの本を紹介するブックトークをしよう！」というパフォーマンス課題を設定し、単元全体の見通しをもたせます。児童は、普段からシリーズ物の読書に親しむとともに、自分が選んだ作家について調べたり、シンキングツール（ベン図）を活用して同じ作家の本を比較したりして、共通する作品の特徴（登場人物、人間関係、出来事、作品構造等）やテーマ（主題）に気付き、主体的にブックトークに取り組んでいきます。単元のポートフォリオ評価表を基に、児童は毎時間の振り返りをして、学びをつなげ深めていきます。

◆単元の目標

登場人物の相互関係や作品構造（起承転結）を捉えるとともに、複数の作品を比較し、共通する作品の特徴やテーマを捉え、表現することができる。

◆単元の計画（全12時間）

【課題の設定（1時間）】

- ※年間の読書指導計画に、児童がシリーズ物の読書に親しむ期間を設定・実施する。
- 保護者ボランティアのブックトークを想起させ、活動への意欲をもつとともに、パフォーマンス課題に対して自分が紹介したい作家を決め、計画的に読書を進める。

作家（ ）さんの本を紹介するブックトークをしよう！

【情報の収集、整理・分析（6時間）】

- 木村裕一作「風切るつばさ」を読み、登場人物の相互関係や作品の構造等を説明する文章を書く。
- 木村裕一作「あらしのよるに」を読み、登場人物の相互関係や作品の構造等を説明する文章を書く。

【整理・分析、まとめ・表現（1時間）】

- 2つの作品を比較して読み、作品の特徴や共通するテーマ等に関する自分の考えを書く。グループや全体で考えを交流し合い、深める。

【情報の収集（※常時活動）】

- 自分で同一作者の他の作品を読む。

【整理・分析（3時間）】

- 学習したことを生かして、ブックトークの原稿を完成させる。

【実行（※朝の会）】

- 朝の会でブックトークを行い、発表の後、感想を交流し合う。

【まとめ、振り返り（1時間）】

- 学習を振り返り、感想を書く。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	おはなしをつくろう
	2	動物のひみつクイズをつくろう 「ビーバーの大工事」
	3	読んで、感そうを伝えよう 「自然のかくし絵」
	4	伝えよう！くらしの中の和と洋 「くらしの中の和と洋」
	5	読んで、考えたことを伝え合おう 「大造じいさんとガン」
算数	2	かさ
	6	文字と式
総合的な学習の時間	6	吉名PRプロジェクト② ～吉名に修学旅行生や観光客を誘致しよう！～

国語

第2学年

育成を目指す資質・能力

【表現する力】【協働する力】

「ぼくたち野菜づくり修行中！」

～名人に聞いて、おいしい野菜を育てよう～

教材名「かんさつ名人になろう」

【単元の概要】

生活科で自分の野菜を愛情をもって世話をする中で、児童は世話の仕方についてたくさんの疑問や不安をもつようになりました。そこで、おいしい野菜に育つよう児童は生長の様子を観察記録し、野菜名人に伝えて指示を仰ぐことを思い付きます。視点をもって観察する繰り返しの中で生長の変化に気付いたり、名人とのやりとりから伝えたいことを焦点化することの大切さを学んだりしながら、疑問を解決し立派な野菜を育てることを目指して、観察記録文を書きます。

◆単元の目標

生活科で栽培している野菜の様子を丁寧に観察し、気付いたことや分かったことを集めるとともに、観察対象の様子や自分の気付きなどが相手に伝わるように工夫して書くことができる。

◆単元の計画（全15時間）

【課題の設定（3時間）】

- 野菜を育てるうち、世話の仕方について出てきた疑問を自分たちだけでは解決できないことに気付いた児童は、野菜名人に相談しようと思いつく。どのようにすれば野菜の様子を名人にうまく伝えられるか、これまでの学習経験を振り返り、「観察記録文を書こう。それも詳しく様子が伝わるように書きたい！」と意欲をもつ。

【情報の収集、整理・分析（5時間）】

- 観察記録文を書くための取材の仕方やメモの取り方を教材文から学ぶ。
- 観点到に沿って野菜を観察しメモを取る。
- 観察記録文の書き方を教材文から学ぶ。
- メモの内容や構成について友達と話し合っ改善する。

【まとめ・表現（1時間）】

- 友達のアドバイスを基に観察記録文を書く。

【実行（1時間）】

- 野菜名人に観察記録文で野菜の様子を伝え、知りたいことを尋ねる。しかし、「まだ情報不足で十分にアドバイスできない。」と返答され、更に観察を続け詳しく記録しようとする気持ちを高める。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

- 観点到に沿って野菜を観察しメモを取って構成を考える。

【まとめ・表現（2時間）】

- 観察記録文を書き、友達と助言し合っ推敲する。

【実行、振り返り（2時間）】

- 野菜名人に観察記録文で様子伝え、世話の仕方のアドバイスをもらう。アドバイスどおり世話を続け、収穫後に学習を振り返ってお礼の手紙を書く。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	〇〇はかせになろう！（読む・書く「じどう車くらべ」）
	2	大好き！レオ＝レオニ（読む「スイミー」）
	3	目指せ！江田島の食マイスター（読む・書く「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えよう」）
	3	報告します！わたしたちの住む町（書く「気になる記号」「報告文を書こう」）
	4	なるほど意見文を書いて自分の考えを伝えよう（書く「自分の考えを伝えるには」）
	4	学校紹介リーフレットを作ろう！（読む・書く「アップとルーズで伝える」「クラブ活動リーフレットを作ろう」）
	5	新聞パズルで読み解く新聞のひみつ！（読む「新聞を読もう」）
	5	筆者の考えをとらえ、活気ある学会をめざそう（読む「見立てる・生き物は円柱形」）
総合的な学習の時間	6	オリーブ振興計画に提案します！（話す・聞く「町の幸福論」）
	3	進め！大古たんけんたい（地域の特産）
	4	広げよう 心の地図（福祉）
	5	10年後の地球を救え！（環境）
	6	オリーブでまちづくり！（地域参画）

国語

第6学年

育成を目指す資質・能力

【思考力・判断力・表現力】

【アイデンティティ】

「読んだことを基に生き方を考え、 『ドリームナビ～海のいのち編～』を書こう」

教材文「海のいのち」

【単元の概要】

総合的な学習の時間で自己の生き方を探る単元「ドリームナビ」と関連させて大単元を構成します。様々な人の生き方から学ぶために、毎月一度ゲストティーチャーから話を聞かせていただいています。単元の導入前に総合的な学習の時間において、漁師の仕事について話を聞いたり、朝読書の時間に命シリーズの読み聞かせをしたりして、学習の種まきをします。そして、総合的な学習の時間にまとめとして作成する「ドリームナビ」（夢への道しるべ）を提示し、国語でも、自分の生き方を見つめ「ドリームナビ～海のいのち編～」を作成するという課題設定をします。登場人物の人物像や生き方を読み深める中で、登場人物の生き方や考え方をどう思うか、また自分はどのような生き方をしたいかを考え、「ドリームナビ～海のいのち編～」を作成していきます。

◆単元の目標

物語の登場人物の生き方を基に、自分自身の生き方について考えを深めることができる。

◆単元の計画（全9時間）

【課題の設定（2時間）】

- ・総合的な学習の時間で聞いた、坂町漁業協同組合の方の漁師の仕事についての話から疑問や感想をもつ。
- ・命シリーズの絵本の読み聞かせを聞く。（朝読書）
- ・総合的な学習の時間との関連や立松和平の絵本から感じたことなどに着目し、「ドリームナビ～海のいのち編～」を書くという単元を貫く学習課題（パフォーマンス課題）をもつ。
- ・場面ごとの読み深めのテーマを設定する。物語の設定状況と大まかな構成を確かめる。

【情報の収集、課題解決（5時間）】

- ・太一の父の人物像を読み取り、太一の父に対する心情をまとめる。
- ・与吉じいさの人物像を読み取り、太一の与吉じいさに対する心情をまとめる。
- ・母の太一に対する心情や太一の母に対する心情をまとめる。
- ・瀬の主に対する太一の心情の変化をまとめる。
- ・瀬の主と別れた後の太一の生き方を読み取る。

【まとめ・表現、振り返り（2時間）】

- ・「ドリームナビ～海のいのち編～」を書くことを通して、登場人物の生き方や自分の生き方を考える。
- ・「ドリームナビ～海のいのち編～」を紹介し合い、感想を交流するとともに学習の振り返りをし、「ドリームナビ」（夢への道しるべ）の作成につなげる。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「じぶんのすてきカード」をつくって、すきなじんぶつをしょうかいしよう 物語文「おとうとねずみ チロ」
	2	「生きるためのひみつ」クイズを作ろう 説明文「ビーバーの大工事」
		心が見えるかみしばいをしよう 物語文「ニャーゴ」
	3	はたらく犬リーフレットをつくろう～命を守るためにできること～ 説明文「もうどう犬の訓練」
		感想を伝え合おう 物語文「サーカスのライオン」
		読みとったしかけをクイズにしよう 物語文「ゆうすげ村の小さな旅館」
	4	「命を伝えるポップ」をつくろう 物語文「ごんぎつね」
	5	「生き方にまなブック」をつくろう 伝記「手塚治虫」
		人物の心情や場面の状況が表れるように朗読しよう 物語文「大造じいさんとがん」
	6	中国新聞の「ヤングスポット」に投書しよう～「ヤングマン」はだれだ！～ 説明文「新聞の投書を読み比べよう」
総合的な学習の時間	3	住みよい町にするには～ぼくたちにできること～
	4	自分の命を守ろう（防災）～かけがえのない命を守るために伝えたいこと～
	5	ヒロシマから見つめよう～今、ぼくたちにできること～
	6	ドリームナビ～夢への道しるべ～

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】【思考力】【自己理解】

ジャッジ・ザ・討論会！～考えを伝え合い深めよう～

教材文「立場を決めて討論しよう」

【単元の概要】

児童が楽しみにしている学校行事である野外活動の内容について討論会で話し合い、決まった内容を実際に野外活動で行います。論題は、Ⅰ「学年レクは、『ドミノ』と『ドッジボール』のどちらがよいか。」Ⅱ「野外炊飯のメニューは、『やきそば』と『ビーフカレー』どちらがよいか。」の二つです。討論会を通して、課題解決に向かって考えを出し合い、意見をまとめていく力を育成することをねらいとしています。

◆単元の目標

討論に関心をもち、収集した知識や情報を関連付け自分の考えを根拠とし、互いの立場や考えの違いを明確にしなが、計画的に討論することができる。

◆単元の計画（全12時間）

【課題の設定（1時間）】

・学校行事である野外活動に向けて意欲が高まり始めている時期に、野外活動での活動内容を討論会の論題とし、討論会で話し合ったことを野外活動に反映させたいという願いをもたせる。これまでの話し合いの仕方に対する課題を踏まえ、学習計画を立てたり単元で付けたい力について考えたりして、単元終了時のゴールの見直しをもつ。

【情報の収集（4時間）】

・討論会のモデル文（教材文）を基に、討論会の方法（論題と立場の決定、討論会の流れ方や進め方、準備など）について整理をする。
・論題について、自分の立場を主張する理由や根拠を明確にし、樹形図を用いて整理する。樹形図を基に、どのような情報を収集する必要があるかを考え、取材の対象や方法を明らかにする。
・相手からの質問を予想し、質問に対する答えを書き出し、整理することで、多面的に考えることが必要であることに気付く。取材内容を見直し、情報を関連付けながら、もう一度相手への質問を考え付箋に書き出す。書き出す際には、具体例の矛盾や問題点など自分の根拠を見直し、主張に説得力をもたせる。

【整理・分析（2時間）】

・持ち寄った考えを関連付けながら、グループで論の組み立てを再検討し、討論会に向けてより説得力のある主張となるよう論を組み立てる。

【まとめ・創造・表現（4時間）】

・各学級で討論会を行う。討論会を振り返り、学年討論会に向けて考えを再構築しまとめる。
・学年討論会を行い、野外炊飯のメニューや野外活動の内容を決定する。

【振り返り（1時間）】

・ノートやワークシートなどを基に、単元の初めに立てた「学びのモニタリング」（自己評価シート）の視点で、学んだことや学び方を振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「どくしょゆうびん」をしよう 教材文「おとうとネズミチロ」
	1	よんでほしいな！「むし大はっけん」 教材文「わたしのはっけん」
	2	しょうかいしよう わたしたちの学校 教材文「名人をしょうかいしよう」
	3	伝えよう すてきな発見！海田町 教材文「心にのこったことを」
	4	目指せ、よりよい5年生に向けて 教材文「報告します、みんなの生活」
	5	リーフレットで報告しよう、ぼくたち・わたしたちの「凜々子大作戦！」 教材文「伝えよう、委員会活動」
	6	わたしは随筆家～6年生の自分を見つめよう～ 教材文「随筆を書こう」
	6	ぼくのわたしのプロフェッショナルとは 教材文「プロフェッショナルたち」
理科	5	瀬野川に学ぶ 「流れる水の働き」
家庭	6	わたしは料理家～おすすめの給食献立を考えよう～ 「朝食から健康な一日の生活を」
体育	3	みんなでトライ！みんなでタグ！ 「タグラグビー」
総合的な学習の時間	3	ふしぎ発見！海田町～海田東魅力いっぱいツアー～
	4	あなたにありがとう～スマイル大作戦～
	5	「凜々子大作戦！」～3代目凜々子を広げよう～
	6	海田東小発未来をえがく～「ワールドフェスティバル」を開催しよう～

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】【思考力】【自己理解】

「くらべてなっとく!『和』と『洋』」

教材文「くらしの中の『和』と『洋』」

【単元の概要】

児童は、「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」を作ることを目的として、生活の中の「和」と「洋」のものの中から、比べるものと比べる観点を決め、図鑑や事典を調べ、必要に応じて文章を引用したり要約したりして、「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」を作ります。さらに、各自が作ったブックを交流することを通して、「和」と「洋」それぞれのよさや違いに気付いていきます。

◆単元の目標

読み取ったことを基に、「和」と「洋」を比較しながら、理由や事例を挙げて文章を書くとともに、調べたことを紹介したり自分の考えを述べたりするために、文章の必要な部分を引用したり要約したりすることができる。

◆単元の計画（全13時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・くらしの中の「和」と「洋」クイズを行い、「和」と「洋」の違いに関心をもつとともに、「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」を作るという学習のゴールを確認し、必要な学習活動や単元で付けたい力について考える。

【情報の収集（7時間）】

- ・教材文の段落構成を捉えることで大まかな内容を把握するとともに、「和室」と「洋室」の過ごし方や使い方の観点で比較することにより、よさや違いを見付け、それぞれの特色や利便性を理解する。
- ・「和室」と「洋室」のよさや違いについて、ブックに表すために、自分の考えを例示するための必要な部分を、教材文から引用したり要約したりしながらまとめる。
- ・自分の生活や体験を振り返り、「衣食住」の中からブックに表したい課題を決め、図鑑や事典を活用して調べ、「和」と「洋」を比較するための根拠となる理由や事例を収集する。

【整理・分析（1時間）】

- ・「和」と「洋」の題材を決めて収集した情報を、事例を挙げながら、よさや違いの観点で、マトリクス表に整理する。

【まとめ・創造・表現（3時間）】

- ・「和」と「洋」のそれぞれのよさや違いが分かるように事例や理由を挙げながら要点をまとめ、ブックに表す。
- ・完成したブックを友達と交流し、それぞれが見つけた「和」と「洋」のよさや違いを交流するとともに、友達のものを見方や考え方の違いに気付く。

【振り返り（1時間）】

- ・単元全体を振り返り、「和」と「洋」について考えることを通して、自分のもの見方や考え方の変容や、ブックづくりを通してできるようになったこと、今後に生かしたいことを考える。
- ・「くらしの中の『和』と『洋』なるほどブック」コーナーを、校内（図書室など）に設置し、教職員や全校児童や保護者に紹介する。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「夏休みの思い出発表会をしよう」～はなしたいな ききたいな～
	1	「オリジナルじゃんけんであそぼう」～じゃんけんやさんをひらこう～
	2	「遊びのやくそくを話し合おう」～みんな遊びを決めよう 2組がもっとなかよくなるために～
	3	「伝えたい瀬野川の魅力」～案内の手紙を書こう～
	5	「4年生や5年生に委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう」～伝えよう、委員会活動～
	6	「南小体力アップ 大作戦!」～資料を生かして呼びかけよう～
	6	「文章を読んで考えたことを先生たちに伝えよう」～イースター島にはなぜ森林がないのか～
総合的な学習の時間	3	わたしは まちの ものしりはかせ ～遊んで 食べて 調べて 楽しい瀬野川～
	3	みんなえがお「南小ふるさと館」を作ろう!
	5	海田のお米再発見!～われら お米アピール隊～

海田南小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://kaitaminami-e.ed.jp/learninginnovation/index.html>

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【主体性】

【協働性】

「醤油新聞を作って地域の人に伝えよう」

教材名「新聞を作ろう」

【単元の概要】

前年度、児童は総合的な学習の時間において、地域に古くからある醤油店について学習しています。醤油店に対する地域の方の声をきっかけに、自分たちが知っている醤油のおいしさや醤油作りへのこだわり等を、地域の方にもっと広く知ってもらうためにはどうすればよいか、考えることから学習がスタートします。グループで同じテーマのもと、伝えたいことの中心が伝わる文章の書き方や、読み手を引き付ける見出し等について、協働的な思考の場を通して学び合い、新聞を完成させていきます。

◆単元の目標

新聞の特徴と作り方を知り、記事にすることを決めて取材をし、伝えたいことが明確になる見出しや文章を書くことができる。

◆単元の計画（全15時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・昨年度の総合的な学習の時間の内容を想起する中で、地域の方の「醤油店の歴史や働く人の思い、商品開発のことなどはよく分からない。」という声を聞き、自分達の思いとのずれを感じる。広く地域の人に伝えたいという思いから、必要な情報を不特定多数の人に伝える手段として新聞を選択する。新聞作りに必要な学習内容を教科書から見出し、学習計画を立てる。

【情報の収集（5時間）】

- ・複数の新聞の1面を比べたり、教材文を読んだりして、新聞の特徴や新聞の作り方の手順を学ぶ。
- ・指導者が作成した新聞のモデルを見て、自分たちが作成する新聞の大きさ、割り付け等を視覚的にイメージシゴールへの見通しをもつ。
- ・昨年度作成した「醤油事典」を基に、思考ツールを活用してこれまでに調べたことを整理し、新たに紹介したいことについて話し合い、テーマを絞る。
- ・取材の方法や内容について話し合い、グループで打ち合わせや準備をする。
- ・醤油店に取材に行き、グループのテーマに沿って必要な情報を集める。

【整理・分析（1時間）】

- ・取材メモと「醤油事典」から、集めた情報を整理し付箋に書きだす。

【まとめ・創造・表現（6時間）】

- ・付箋から伝えたい情報を選び、文章の構成を考え、下書きをする。
- ・読む人を引き付ける見出しの工夫について話し合い、見つけた工夫を「<大切！>見出しのコツ」としてまとめる。グループでそれぞれが書いた文章を読み合い、見出し作りの工夫を取り入れて、読み手を引き付ける見出しを考える。
- ・指導者が作成した新聞モデルを参考にして、グループごとに割り付けを考え、下書きを基に新聞を仕上げる。

【振り返り（1時間）】

- ・友達と読み合い、感想を交流する。

【実行（※総合的な学習の時間）】

- ・地域の商業施設・公共施設等に新聞を掲示する。

【振り返り（1時間）】

- ・新聞作りを通して身に付いた力について振り返ったり、新聞を読んで地域から寄せられた声から感想をまとめたりする。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	たのしさをつたえよう 教材名「しらせたいな 見せたいな」
	2	家族のために発明品を考えて、はっぴょうしよう 教材名「あったらいいな、こんなもの」
	3	説明のしかたをくふうして「食べ物へんしんブック」を作ろう 教材名「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」
	5	ポップで伝えよう「〇〇の生き方」 教材名「千年の釘にいどむ」
	6	小田東小学校をもっとすてきな学校にするための意見文を書こう 教材名「未来がよりよくあるために」
総合的な学習の時間	4	甲田の梨を広め隊！ わくわく広報プロジェクト ～「知ってほしい甲田の梨」～

国語

第4学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見・解決能力】【協調性】

「松井さんはてなブック」を作ろう

教材文「白いぼうし」

【単元の概要】

「白いぼうし」を読んで不思議に思ったことを交流しながら、考えていきたい「なぞ」を設定します。それをグループや全体で本文を根拠にしながら話し合い、解決していきます。解決したものは、「松井さんはてなブック」にまとめ、図書室に置き、全校児童が読めるようにします。

◆単元の目標

物語の中心人物の性格や描かれた情景などについて、叙述を基に想像して読み、内容の理解を深めるとともに、感想を発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。

◆単元の計画（全8時間）

【課題の設定（2時間）】

- ・児童会の図書委員から、「学校で行う『秋の読書祭り』で、みんながファンタジーを読みたくなるような取組を、3年生に提案してほしい。」という依頼を受ける。
- ・教科書の「白いぼうし」を読んで自分達が不思議に思ったこと（初発の感想）を交流するとともに、「白いぼうし」以外の「車の色は空の色」シリーズ作品を読み、考えてみたい「なぞ」（ファンタジーの物語のしかけ）がたくさんあることに気付く。
- ・この「なぞ」を集めた「松井さん（シリーズ共通の登場人物）はてなブック」を作り、学校図書館に置くとともに、「秋の読書祭り」で紹介しようという学習計画を立てる。

【情報の収集、整理・分析（2時間）】

- ・「白いぼうし」のグループごとに決めた「なぞ」について、本文の叙述を根拠にしながら話し合う。

【まとめ・創造・表現（1時間）】

- ・他グループに自分たちの「なぞ」に対する答えを発表し、交流しながら考えを深める。
- ・グループの「なぞ」に対する答えも聞き、「松井さんはてなブック」にまとめる。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

- ・全体で決めた「なぞ」について、本文を根拠にしながら話し合う。

【まとめ・創造・表現、実行（1時間）】

- ・「車の色は空の色」シリーズの「白いぼうし」以外の作品を読み、松井さんの人柄を捉えながら、ファンタジーとしての物語のしかけを読み、「なぞ」と答えを「松井さんはてなブック」にまとめていく。

【実行、振り返り（1時間）】

- ・初発の感想と学習後の感想を比較し、より深く捉えた松井さん像を「松井さんはてなブック」にまとめる。
- ・「松井さん（シリーズ共通の登場人物）はてなブック」を作り、学校図書館に置くとともに、「秋の読書祭り」で紹介する。他学年の児童の感想をアンケート等で把握し、これからも様々な読書活動をしていこうという思いを高める。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	できるようになったよ おんどくげきをしよう 「物語文 たぬきの糸車」
	2	スーホに手紙で伝えよう 「物語文 スーホの白い馬」
	3	民話、昔話のなぞときカードを作ろう 「物語文 三年とうげ」
	4	「自分物語」を書こう 「物語文 プラタナスの木」
	5	ドキュメンタリー番組をつくろう 「物語文 わらぐつの中の神様」
	6	登場人物の生き方についての考えを交流しよう 「物語文 海のいのち」
社会	3	工場ではたらく人びとの仕事
	4	なくそう、こわい火事
	5	自動車工業のさかんな地域
	6	国力の充実をめざす日本と国際社会
生活	1	つくろう あそぼう
	2	うごく おもちゃランドをつくろう
総合的な学習の時間	3	西野の宝『梅林』を多くの人に知ってもらおうプロジェクト
	4	『学びの森』を楽しくしようプロジェクト
	5	未来につなごう 『西野川』プロジェクト
	6	広めよう『わたしたちのやっさ踊り』プロジェクト

西小学校「課題発見・解決学習」HP アドレス

<http://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/es-nishi/kyouikukennkyu.html>

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力 【思考力・表現力】

「世界でいちばん〇〇〇～マイ物語を作ろう～」

教材文 「世界でいちばんやかましい音」

【単元の概要】

教師が創作した物語の読み聞かせを通して、物語創作に関心をもち、「読み手を引きつけるような物語を作るには、どうすればいいのだろう。」という本質的な問いをもたせます。そして、自分で物語を創作してクラスの友達や下級生に読んでもらおうという学習課題を設定します。物語を創作する際は、「マイ物語プラン」を使って物語の構成やストーリーを計画しながら教材文を読み深めていきます。児童が目的意識をもち、物語を主体的に創作していくことのできるおすすめ単元です。

◆単元の目標

構成のおもしろさに興味をもち、物語の構成や反復表現、擬音語の効果を捉えて、人物相互の関係や心情の変化、場面の描写のおもしろさを意識しながら読んだり物語を書いたりする。

◆単元の計画（全8時間）

【課題の設定（1時間）】

- ・教師が創作した物語（設定部分）を聞いて、マイ物語「世界でいちばん〇〇〇」を作りたいという意欲をもち、学習の見通しをもつ。
- ・教材文「世界でいちばんやかましい音」の全文を読み、物語のあらすじやおもしろさをつかむ。

【情報の収集（2時間）】

- ・物語の基本構成を知り、教材文の出来事を整理して「設定」、「展開」、「山場」、「結末」に分け、物語の展開を捉える。
- ・4つの構成をもとに、教材文のあらすじをまとめる。

【整理・分析（2時間）】

- ・教材文の「設定」と「結末」の部分と比較し、物語全体の構成や役割を考える。
- ・教材文の「結末」と教師の創作した物語（結末部分）を読み比べる。
- ・教材文の「展開」と「山場」の部分の役割を考えながら読む。
- ・教材文の「山場」と教師の創作した物語（山場部分）を読み比べ、「山場」に必要なポイントをつかむ。

【まとめ・表現（2時間）】

- ・「マイ物語プラン」にマイ物語の構成を考える。
- ・物語の構成や反復表現、擬音語等を意識しながらマイ物語を創作する。

【実行、振り返り（1時間）】

- ・できあがった物語を友達同士で交流し、単元の学習を振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	「おはなしのすきなところを見つけよう」 物語文 スイミー
	2	「むかし話の紙しばいをせいこうさせよう」 物語文 かきこじぞう
	3	「音読で感動を伝えよう！～斎藤隆介の世界～」 物語文 もちもちの木
	4	「くらしの中の和と洋ブックを作ろう！」 説明文 くらしの中の和と洋
	5	「土堂地区の空き家問題の解決方法を話し合おう」 立場を決めて討論をしよう
	6	「総合的な学習の時間のすばらしさを市民に伝えよう」 新聞の投書を読んで意見を書こう
算数	1	「みんなでつくろう！けいさんデパート～のこりはいくつ？ちがいはいくつ？～」 ひき算
	2	「家を建てよう～いろいろな四角形を生かして～」 いろいろな四角形
	5	「平均！このペースで大丈夫？～オリジナル問題を作ろう～」 単位数あたりの大きさ
	6	「記録比べ～どれだけ記録がのびたかな～」 倍の計算
総合的な学習の時間	3	「お寺の魅力、再発見！」
	4	「尾道の小路復活大作戦！」
	5	「空き家問題 アクション・プラン」
	6	「提案します！尾道幸福論～課題を見つめてよりよい尾道を～」

国語

第5学年

育成を目指す資質・能力

【話をきく力】【主体性】【コミュニケーション力】

「話し合いレベルアップ大作戦 ～話し合いをするためのコツは？～」

【単元の概要】

4年生から話し合いの仕方を教えてほしいという要望があり、自分たちの話し合いを見直します。そのことで、自分たちの話し合いの仕方について課題を発見し、改善するためのコツを見付けます。さらに、見付けたコツを使って話し合いをすることにより、そのコツの効果を実感し、自分たちの話し合いをさらに高めていこうという態度を養っていきます。

◆単元の目標

自分たちの話し合いをよりよくしようという視点で、語感や言葉の使い方に関心をもち、互いの立場や意図をはっきりさせながら、意欲的・計画的に話し合う力を付ける。

◆単元の計画（全9時間）

【課題の設定（1時間）】

・ 本学級の児童の実態として、意見が出にくい状況があり、考えを深め合えるまでの話し合いになりえていないという課題があった。それは、児童も自覚しており、「このままの話し合いではだめだ。自分たちの話し合いを高めよう。」という課題意識をもたせて本単元を設定した。まず、これまでの自分たちの話し合いを想起して課題を出し合うとともに、どんな話し合いがしたいかを交流し、単元を貫く問い「5年ろ組の話し合いをパワーアップさせるためのコツは？」を設定した。課題として「話し合いが進まない」、「意見を言わない人がいる」、「テーマから外れたことを勝手に言う人がいる」等が挙げられた。その課題を解決するために、「話し合いパワーアップ大作戦」として、どのように話し合いを進めればいいのか解決策を考えていくという学習のめあてを明確にする。

【情報収集、整理・分析（4時間）】

・ 話し合い例のシナリオを読んで、そのよさや課題を交流し、「確かめ」、「理由付け」、「受け止め」、「もどし」、「反論」等の話し合いの『コツ』を見付ける。
・ 見付けたコツを使って実際に話し合い（第1回）を行う。話し合いを終えた後、『コツ』の効果を話し合う。
・ 話し合い（第1回）のシナリオを用いて、どのコツが効果的だったか、自分たちの課題を解決するにはどうすればよいのかを話し合い、代表者による話し合い（第2回）を行う。代表者以外の児童は、どんなコツを使えばどんな効果があるのかについて考えながら話し合いを聞き、意見を交流する。また、話し合いの時の雰囲気や表情、声のトーンなども重要な要素であることに気付く。
・ 代表者による話し合い（第2回）のシナリオを用いて、どのコツが効果的か、司会が自分の役割を果たしているか、話し合いの雰囲気はどうかなどについて話し合い、自分たちの話し合いに必要なことを捉える。

【実行（3時間）】

・ これまでの学習を生かして話し合いを行い、お互いのよさを交流する。
・ 4年生と合同で、話し合い活動を行う。5年生は見付けたコツを使って話し合いをし、4年生は、その話し合いを見てどんなコツがあるかを学ぶ。その後、4年生が話し合いを行い、それを見た5年生がアドバイスをを行う。

【まとめ、振り返り（1時間）】

・ 自分たちの話し合いのどこがどのようにパワーアップしたか自己評価する。
・ 見付けた『コツ』を各教科の話し合いの中にどのように生かせばいいのか考える。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	繰り返しのある本を紹介しよう！～何が繰り返されてる？～ 物語文「ずうっと、ずっと、大すきだよ」
	2	分かりやすく説明書を書こう～どんな説明の仕方がいいかな？～ 説明文「しかけカードの作り方」「おもちゃの作り方」
	3	感想文を書こう～ちいちゃんにとってかげおくりはどんなものだったのだろう？～ 物語文「ちいちゃんのかげおくり」
	4	手紙を書こう～ごんや兵十にどんな言葉をかける？～ 物語文「ごんぎつね」
	5	表現効果の解説書を作ろう～表現の効果はどれくらい？～ 物語文「大造じいさんとガン」
	6	新しい暮らし方を紹介しよう～「自然に学ぶ暮らし」とはどんな暮らしだろう？～ 説明文「自然に学ぶ暮らし」
総合的な学習の時間	4	三次の伝統工業を知ろう～三次人形に込められた願いを多くの人に伝えるには？～